

土砂災害に対する地域防災力向上検討会を開催します

立山砂防事務所では、昨年度から大規模土砂災害が発生した場合に備えた地域防災力の向上検討を、立山町東谷地区をモデルとして進めています。

このたび、東谷地区における土砂災害に対する地域防災力の一層の向上を図ることを目的に、住民参加型のワークショップを下記の通り実施します

1. 名 称 土砂災害に対する地域防災力向上検討会
2. 日 時 平成27年10月28日（水） 18：30～20：30
3. 実施場所 立山町 谷口公民館 立山町谷口7-2
4. 参加者 東谷地区住民
（白岩、谷口、虫谷、四谷尾の各地区から計45名）
立山砂防事務所（全体進行管理、記録）
立山町（進行補助）
富山県及び県内他市町村（見学者）
5. 検討内容 ・第1回検討会の振り返り
・大規模土砂災害（河道閉塞等）を対象とした警戒避難について
（避難場所・避難経路・災害時の住民の役割分担 など）

お 問 い 合 わ せ 先

国土交通省 北陸地方整備局 立山砂防事務所
副所長（技術） 福田 光生
調査課長 石井 崇
電話 076-482-1111（代表）
FAX 076-482-1101

立山砂防事務所

〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峠寺字ブナ坂61番地
<http://www.hrr.mlit.go.jp/tateyama/index.html>

QRコードはこちら 

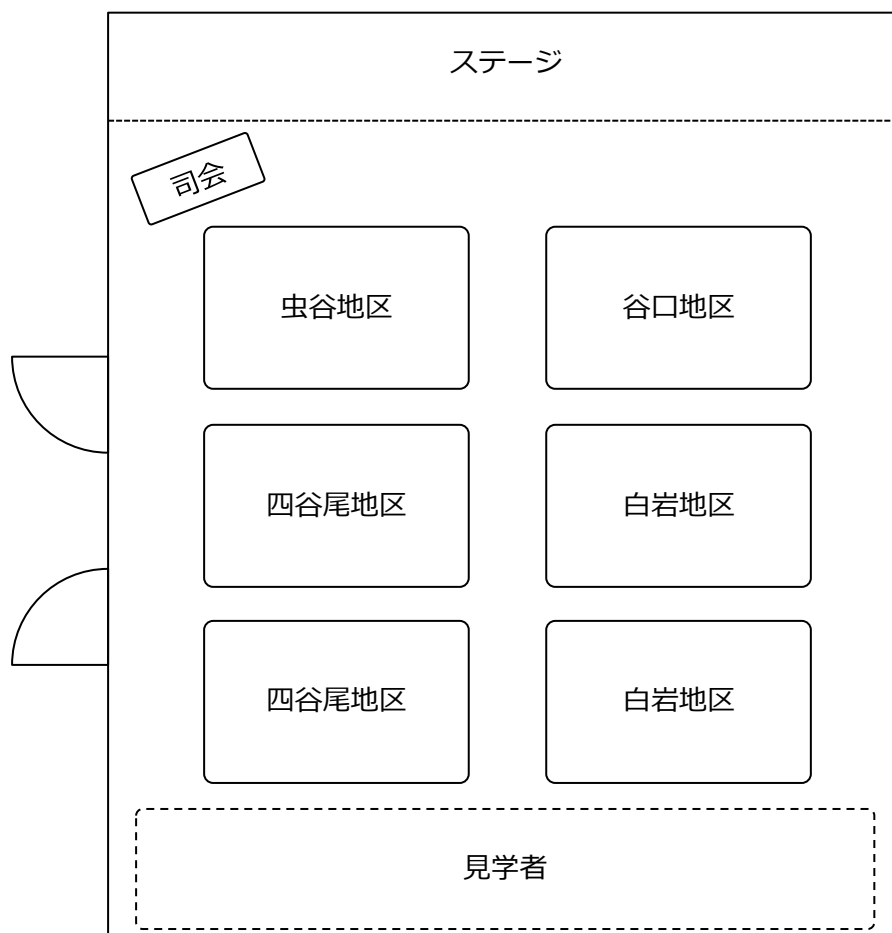


国土交通省北陸地方整備局

1. タイムスケジュール

時間		内容
18:30～	(10 分)	開会挨拶
18:40～	(10 分)	検討会(ワークショップ) ・ 前回の検討結果の紹介 ・ 今回の検討テーマの紹介
18:50～	(30 分)	第一部 ① 前回の振り返り →テーブルごとに発表 ② 避難にあたって地域でできること →テーブルごとに発表
19:20～	(5 分)	
19:25～	(10 分)	【立山町からのコメント】
19:25～	(10 分)	(休 憩)
19:35～	(15 分)	第二部 【河道閉塞についての勉強会】 ③ 河道閉塞に対する警戒避難について →テーブルごとに発表
19:50～	(20 分)	
20:10～	(10 分)	まとめ ④ まとめ (各地区から一言ずつ発表)
20:20～	(5 分)	感じたところ
20:25～	(5 分)	閉会挨拶

2. 会場イメージ



※当日参加者の人数で変更になる場合があります。

住民自らが地域防災力について考える！



災害対策基本法や土砂災害防止法の改正等を受け、各機関の災害発生時等における役割が明確化されたことから、立山砂防事務所においても、住民・市町村・県と連携し、取り組んでいます。

今回は、地域住民が安全かつ迅速に避難するために、住民の方に自らの問題として取り組んでもらい、「地域防災力」を向上する目的として、ワークショップ型式の勉強会・検討会を実施しました。

- ・日時 平成27年8月19日(木)18:30～20:30
- ・場所 谷口公民館(立山町)
- ・参加者 東谷地区(白岩、四谷尾、虫谷、谷口)住民39人
立山町、立山砂防事務所、富山県
県内市町村の防災担当者

<ワーキングを実施してみて>

会場には、各地区からたくさんの方が参加していただき、「身近に起こった土砂災害」や「日頃危険だと感じていること」等のテーマが司会から与えられると、各地区の班ごとに体験談や日頃思っていること等、とても活発に意見が交わされました。

もし土砂災害にあったらどこへ逃げればいいのか、助けを求めている人がどこの家にいるのか、どのような自助共助ができるか等々、改めて住んでいる地区の土砂災害や防災のあり方について考えていただけた機会になったと思っています。



土砂災害についての勉強会



各班で出し合った意見を発表

各意見を出し合い、地図に情報を
書き込んでいくワーキング状況



地元の方がまとめた地図



(黄色: 思うこと、課題 青色: 過去の災害)